

(別表第1の4)

事業所名 ほっとやまうち

目標達成計画

作成日：平成 26年 2月 1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	33	看取りの職員や看護師、医療関係者がそれぞれの役割を確認し合い、連携体制を構築すると共に、職員が研修に参加するなど事業所での勉強会を重ね、職員のレベルアップを図り、住み慣れた場所で安心して最期を迎えられるよう、さらなる取組みを期待したい。	重度化した場合や終末期のあり方について早い段階から本人・家族と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組む。	重度化や終末期の対応について入居時に対応可能な支援を説明したり、冊子を渡し同意を得ている。また前施設長や協力病院の師長に看取りについてミーティング等で話し合い共有している。勉強会で死生観の共有も含め、看取りケアの際の介護者としての姿勢や対応の確認をし、支援する体制の充実に取り組む。看取りについてのマニュアルを再検討し見直していく。	か月	
2	6	高齢者の権利擁護や身体拘束の勉強会を実施し、職員全員の共通認識を図ると共に、身体拘束禁止の対象となる具体的な行為の理解を図り支援することを望みたい。また、身体拘束だけではなく、言葉での拘束や精神的苦痛等についても理解が得られるよう取組みを期待したい。	代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組む。	定期的に勉強会をしたり外部の研修に積極的に参加し、身体拘束の禁止対象となる行為とその弊害を学び、不適切な行動や対応が及ぼす影響について知識を深め、常に介助方法の話し合いを持ちながら、身体拘束をしないケアを心がける。身体拘束廃止委員会を設置し、やむを得ない身体拘束が生じたときはその都度話し合い、拘束解除を目標に継続的にカンファレンスを行う。	達成	身体拘束廃止委員会を設置する。
3					か月	
4					か月	

注1)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。□

注2)項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入して下さい。

注3)外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告して下さい。

注4)目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告して下さい。

(別表第1の5)

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取 り 組 ん だ 内 容	
実施段階		(↓ 該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
			④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
			⑤その他()
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	①自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
			④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
			⑤その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/>	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
			④その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/>	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
			②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input type="radio"/>	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
			⑤その他()
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
			②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/>	③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		<input type="radio"/>	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
			⑤その他()